



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月13日

上場会社名 日本コンセプト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9386 URL <https://www.n-concept.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松元 孝義
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 (氏名) 若園 三記生 (TEL) 03-3507-8812
 四半期報告書提出予定日 2021年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	3,676	16.7	500	44.7	461	26.7	334	29.6
2020年12月期第1四半期	3,150	1.4	345	△28.1	364	△23.5	258	△23.0

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 449百万円(110.4%) 2020年12月期第1四半期 213百万円(△36.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	24.15	—
2020年12月期第1四半期	18.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	19,979	11,646	58.3
2020年12月期	19,008	11,404	60.0

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 11,646百万円 2020年12月期 11,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

2021年12月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大等による影響に関して、今後の収束時期および当社グループ業績への影響を現時点で合理的に算定することが困難であることから、引き続き未定としております。今後、合理的な算定が可能となりました段階で改めて公表させていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料) 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年12月期 1 Q	13,868,500株	2020年12月期	13,868,500株
2021年12月期 1 Q	679株	2020年12月期	679株
2021年12月期 1 Q	13,867,821株	2020年12月期 1 Q	13,867,833株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、2021年12月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大等による影響に関し、今後の収束時期および当社グループ業績への影響を現時点で合理的に算定することが困難であることから、引き続き未定としております。今後、合理的な算定が可能となりました段階で改めて公表させていただきます。詳細につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
3. その他	9
(1) 販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	増減額 (増減率)	
売上高 (千円)	3,150,664	3,676,517	525,852	(16.7%)
営業利益 (千円)	345,910	500,569	154,659	(44.7%)
経常利益 (千円)	364,059	461,277	97,218	(26.7%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (千円)	258,493	334,940	76,446	(29.6%)
保有基数 (3月末時点)	8,172本	9,252本	1,080本	(13.2%)
稼働率 (3ヶ月平均)	70.9%	77.5%	6.6%	

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により緊急事態宣言の再発令を受けるなど、個人向けサービスや宿泊・飲食業サービスなどの個人消費関連の業種においては景況感が再び悪化しております。一方、製造業においては、輸出の増加に加えて円安の進行に伴い収益が改善されたことから、企業の景況感は二極化が鮮明になっております。

世界経済に目を向けますと、新型コロナウイルス感染症は拡大しているものの、米国ではワクチンの普及や追加経済対策を背景とした景気回復期待の高まりから消費者マインド、製造業マインドとも改善しつつあります。欧州では活動制限が長期化しているものの、製造業を中心とした企業マインドは底堅く推移しております。一方、中国におきましては、活動制限の強化や春節の帰省自粛などが景気回復をやや鈍化させたものの、情報通信機器などの需要が拡大していることに加え、経済対策を受けて固定資産投資が大幅に拡大しております。

当社グループは、こうしたビジネス環境のなか増加している輸出取引を獲得するための営業活動を全社一丸となって推進し、従来、他社からサービスを受けていた先からも新規取引を受注するなど輸出売上は大幅に増加し、過去最高を記録いたしました。また、国内取引においては、当社の強みである国内支店網を活かした保管業務が顕著に増加したことから国内輸送等売上も前第1四半期連結累計期間を大きく上回りました。また、着実な拡大を続けているガスタンクコンテナ事業においても、売上は142百万円（前年同期は132百万円）となっております。この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、前第1四半期連結累計期間を525百万円上回る3,676百万円（前年同期比16.7%増）を達成いたしました。利益面におきましては、タンクコンテナを中心とした設備投資を継続していることから減価償却費が増えるなか原価の増加を抑える一方、経費の圧縮を図ることにより、500百万円（前年同期比44.7%増）の営業利益を上げることとなりました。なお、経常利益につきましては、為替差損29百万円（前年同期は、為替差益27百万円）を計上したものの、461百万円（前年同期比26.7%増）を確保しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ970百万円増加（5.1%増）し、19,979百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ544百万円増加（8.0%増）し、7,353百万円となりました。現金及び預金が203百万円、売掛金が331百万円、その他流動資産が10百万円増加したことが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ426百万円増加（3.5%増）し、12,626百万円となりました。建物及び構築物（純額）が9百万円、その他有形固定資産（純額）が20百万円減少したものの、タンクコンテナ（純額）が462百万円増加したことが主な要因です。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ235百万円増加（8.0%増）し、3,197百万円となりました。1年内返済予定の長期借入金が75百万円、リース債務が11百万円、未払法人税等が10百万円、その他流動負債が39百万円減少したものの、買掛金が217百万円、短期借入金が126百万円、賞与引当金が31百万円増加したことが主な要因です。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ493百万円増加（10.6%増）し、5,135百万円となりました。長期借入金が96百万円減少したものの、リース債務が593百万円増加したことが主な要因です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ241百万円増加（2.1%増）し、11,646百万円となりました。利益剰余金が126百万円、為替換算調整勘定が114百万円増加したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症が世界中に拡大するなかワクチン接種は徐々に進みつつあるものの、感染力の高い変異ウイルスが新たに猛威を振るうなど、未だ感染症収束の目処が立たない状況が続いております。

こうした状況下においても日本からの輸出は大幅に伸びており、コンテナ船のスペース確保が難しくなる一方、海上運賃も高騰するなか、お客様のニーズに最大限お応えすべく可能な限りタンクコンテナをご提供するための施策を当社は講じてまいりました。これにより、当第1四半期連結累計期間は前第1四半期連結累計期間に対して増収増益の動きを見せておりますが、現時点において当期の業績見込みを合理的に算出することが可能な状況にまでは至っていないことから、連結業績予想は引き続き未定とさせていただきます。

なお、今後の事業の進捗状況を踏まえ、業績への影響を慎重に見極めつつ予想数値の合理的な算出が可能となり次第、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,835,475	5,038,859
売掛金	1,473,952	1,805,211
その他	499,895	510,308
貸倒引当金	△770	△1,146
流動資産合計	6,808,552	7,353,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,697,006	1,687,752
タンクコンテナ(純額)	7,360,107	7,822,846
土地	2,195,963	2,195,963
その他(純額)	429,385	408,412
有形固定資産合計	11,682,462	12,114,974
無形固定資産	237,074	228,695
投資その他の資産	280,696	282,842
固定資産合計	12,200,234	12,626,512
資産合計	19,008,786	19,979,746
負債の部		
流動負債		
買掛金	766,144	983,399
短期借入金	190,000	316,000
1年内返済予定の長期借入金	645,190	569,740
リース債務	792,341	780,695
未払法人税等	165,401	155,171
賞与引当金	33,422	65,170
株主優待引当金	2,232	—
その他	367,415	327,716
流動負債合計	2,962,147	3,197,893
固定負債		
長期借入金	1,673,152	1,576,245
リース債務	2,641,947	3,234,984
退職給付に係る負債	139,911	131,308
その他	186,837	193,294
固定負債合計	4,641,847	5,135,832
負債合計	7,603,995	8,333,726

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,134,781	1,134,781
資本剰余金	1,060,941	1,060,941
利益剰余金	9,294,173	9,421,096
自己株式	△581	△581
株主資本合計	11,489,314	11,616,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,030	△954
為替換算調整勘定	△83,493	30,737
その他の包括利益累計額合計	△84,523	29,782
純資産合計	11,404,791	11,646,020
負債純資産合計	19,008,786	19,979,746

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	3,150,664	3,676,517
売上原価	2,414,951	2,805,474
売上総利益	735,713	871,042
販売費及び一般管理費	389,802	370,473
営業利益	345,910	500,569
営業外収益		
受取利息	3,046	255
為替差益	27,876	—
受取家賃	2,777	2,162
受取補償金	75	—
補助金収入	1,667	5,916
その他	72	490
営業外収益合計	35,516	8,825
営業外費用		
支払利息	17,224	18,209
為替差損	—	29,306
その他	142	602
営業外費用合計	17,367	48,117
経常利益	364,059	461,277
特別利益		
固定資産売却益	—	314
特別利益合計	—	314
特別損失		
固定資産除却損	1,163	17
特別損失合計	1,163	17
税金等調整前四半期純利益	362,895	461,574
法人税等	104,402	126,633
四半期純利益	258,493	334,940
親会社株主に帰属する四半期純利益	258,493	334,940

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	258,493	334,940
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△157	75
為替換算調整勘定	△44,859	114,230
その他の包括利益合計	△45,016	114,306
四半期包括利益	213,477	449,246
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	213,477	449,246
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り」に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

3. その他

(1) 販売の状況

当第1四半期連結累計期間における輸送形態別販売実績は、次のとおりであります。(単位：千円)

輸送形態別	前第1四半期 連結累計期間 自 2020年1月1日 至 2020年3月31日	当第1四半期 連結累計期間 自 2021年1月1日 至 2021年3月31日	前年同期比(%)
輸 出 売 上	1,156,519	1,497,008	129.4%
輸 入 売 上	998,542	986,909	98.8%
三 国 間 売 上	132,719	182,701	137.7%
国内輸送等売上	798,480	887,860	111.2%
そ の 他	64,402	122,037	189.5%
合 計	3,150,664	3,676,517	116.7%

(注) 1 「輸出売上」「輸入売上」「三国間売上」「国内輸送等売上」「その他」は、輸送経路による区分であります。

2 国内輸送等売上には、国内輸送に加え保管及び加温に関するサービスも含まれております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。